



文部科学省 人文学及び社会科学における共同研究拠点の整備の推進事業

慶應義塾大学パネル調査共同研究拠点

活動報告 Activity Report No.4

慶應義塾大学産業研究所共催 パネルデータ解析セミナー

【対象】 学部生、修士・博士課程在籍者・修了者、
シンクタンク等研究機関研究員

【日時】

- a. 【Stataによる回帰分析：準備講座】
平成22年3月11日（木）～12日（金） 18:30～20:30
- b. 【パネルデータ解析セミナー】
平成22年3月15日（月）～18日（木） 13:00～18:00

【場所】 慶應義塾大学三田キャンパス大学院棟3 2 2教室

【プログラム】

a. 【Stataによる回帰分析】

- (1) 回帰分析の基礎
- (2) Stataの利用方法
 - (a) Stataの起動
 - (b) データの読み込み (use, insheetコマンド)
 - (c) データの確認 (browse, describe)
 - (d) 変数の構築 (generate, replace, drop)
 - (e) 基本的な統計量の確認 (summarize, tabulate)
 - (f) 回帰分析の実施 (regress)

b. 【パネルデータ解析セミナー】

- (1) Stataの利用方法 (確認)
 - (a) データ構築 (merge, appendコマンド)
 - (b) プログラミング (foreach, while)
 - (c) マクロ (local, global)
- (2) クロスセクション分析
 - (a) 線形回帰モデル (regress)
 - (b) 質的従属変数モデル (probit, logit, clogit)
 - (c) サンプル・セレクションモデル (heckman)
- (3) パネルデータ分析
 - (a) 固定効果・変量効果モデル (xtreg)
 - (b) 差分の差分推定
 - (c) イベント・ヒストリー分析 (stcox)

2010年3月11日から18日の6日間（土日除く）において、パネルデータ解析セミナーが行われた。本セミナーでは、統計パッケージStataを使ったパネルデータの基礎的なハンドリングの方法と分析方法について、受講者による演習を交えながら講義を進めていった。

今年で2年目となるセミナーであるが、今回は慶應義塾大学産業研究所との共催により、3月15日から本講座に先立ち、3月11日・12日の2日間に準備講座を設け、回帰分析の基礎と統計パッケージStataの基本的な利用方法について解説していった。本講座では、実際のパネルデータ（慶應義塾家計パネル調査：KHPS）を用い、データセットの構築から、基礎的な分析手法について学んでいった。

昨年に引き続き、準備講座・本講座ともに、定員（60名）を超える申込みをいただいた。受講者は、官公庁や民間シンクタンクの職員から、大学教員、大学・大学院生と幅広く、パネルデータへの関心の高さがうかがえた。本講座は、連日13:00から18:00の長丁場となったが、参加者の方々は熱心に受講され、盛況に幕を閉じた。

